

【修士課程】バイオサイエンス専攻

◎は必修、○は選択

分野	授業科目の名称	単位数	必・選	毎週授業時間数				備考
				1年次		2年次		
				前期	後期	前期	後期	
生物工学	バイオプロセス工学特論Ⅰ	2	○	○				修了要件 修士課程に2年以上 在学し、所定の授業 科目30単位（必修単 位16単位を含む）以 上を修得し、修士論 文の審査及び最終試 験に合格すること。
	バイオプロセス工学特論Ⅱ	2	○				○	
	食品科学特論Ⅰ	2	○	○				
	食品科学特論Ⅱ	2	○				○	
	分子生物学特論Ⅰ	2	○		○			
	分子生物学特論Ⅱ	2	○			○		
	微生物学特論	2	○	○				
	製剤学特論	2	○		○			
生体機能学	生体反応特論	2	○		○			
	植物組織培養学特論Ⅰ	2	○		○			
	植物組織培養学特論Ⅱ	2	○			○		
生物有機化学	生物有機化学特論Ⅰ	2	○	○				
	生物有機化学特論Ⅱ	2	○				○	
	遺伝子化学特論Ⅰ	2	○	○				
	遺伝子化学特論Ⅱ	2	○				○	
医療科学	神経科学特論	2	○		○			
	リハビリテーション科学特論	2	○		○			
	共生ロボット工学特論	2	○	○				
	生体信号処理特論	2	○	○				
	センサ工学特論	2	○		○			
	医療情報処理特論	2	○	○				
	生体材料工学特論	2	○		○			
共通	バイオサイエンス輪講第一	2	◎	○				
	バイオサイエンス輪講第二	2	◎		○			
	バイオサイエンス輪講第三	2	◎			○		
	バイオサイエンス輪講第四	2	◎				○	
	バイオサイエンス特別実験第一	4	◎	○	○			
	バイオサイエンス特別実験第二	4	◎			○	○	

【修士課程】環境マテリアル専攻

◎は必修、○は選択

分野	授業科目の名称	単位数	必・選	毎週授業時間数				備考
				1年次		2年次		
				前期	後期	前期	後期	
環境科学	環境物理化学特論	2	○	○				修了要件 修士課程に2年以上在学し、所定の授業科目30単位（必修単位16単位を含む）以上を修得し、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。
	環境有機化学特論	2	○		○			
	環境無機化学特論	2	○		○			
	環境分析学特論	2	○	○				
	大気環境学特論	2	○	○				
環境機能材料	分光光学特論	2	○	○				
	機能性分子特論	2	○		○			
	クリーンエネルギー特論	2	○		○			
自然環境	環境共生学特論	2	○		○			
	生物間相互作用学特論	2	○		○			
	植物環境生理学特論	2	○	○				
	植物代謝機能学特論	2	○	○				
	環境野生動物学特論	2	○		○			
	保全遺伝学特論	2	○		○			
	物質循環生態学特論	2	○	○				
	水圏環境生態学特論	2	○	○				
	環境生態学特論	2	○		○			
人類学特論	2	○		○				
共通	環境マテリアル輪講第一	2	◎	○				
	環境マテリアル輪講第二	2	◎		○			
	環境マテリアル輪講第三	2	◎			○		
	環境マテリアル輪講第四	2	◎				○	
	環境マテリアル特別実験第一	4	◎	○	○			
	環境マテリアル特別実験第二	4	◎			○	○	

【修士課程】アニマルサイエンス専攻

◎は必修、○は選択

分野	授業科目の名称	単位数	必・選	毎週授業時間数				備考
				1年次		2年次		
				前期	後期	前期	後期	
動物看護福祉科学	代謝生理学特論	2	○		○			修了要件 修士課程に2年以上在学し、所定の授業科目30単位（必修単位16単位を含む）以上を修得し、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。
	動物看護学特論	2	○	○				
	動物福祉特論	2	○		○			
	動物保健衛生学特論	2	○		○			
	臨床動物行動学特論	2	○	○				
動物基礎科学	動物行動生理学特論	2	○		○			
	動物行動神経科学特論	2	○		○			
	動物行動学特論	2	○	○				
	動物行動生態学	2	○	○				
	陸生哺乳類学特論	2	○	○				
	水生哺乳類学特論	2	○		○			
	社会行動と生物学	2	○	○				
	動物基礎科学特殊講義	2	○			○		
人間動物関係科学	環境教育特論	2	○	○				
	動物園動物学	2	○		○			
	動物介在介入Ⅰ	2	○	○				
	動物介在介入Ⅱ	2	○	○				
	動物介在人間工学特論	2	○		○			
	共生文化論	2	○		○			
共通	動物科学特論一	2	○			○		
	動物科学特論二	2	○				○	
	アニマルサイエンス輪講第一	2	◎	○				
	アニマルサイエンス輪講第二	2	◎		○			
	アニマルサイエンス輪講第三	2	◎			○		
	アニマルサイエンス輪講第四	2	◎				○	
	アニマルサイエンス特別実験第一	4	◎	○	○			
	アニマルサイエンス特別実験第二	4	◎			○	○	

【博士課程】先端科学技術専攻

○は選択

領域	授業科目の名称	単位数	必・選	毎週授業時間数						備考
				1年次		2年次		3年次		
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	
バイオサイエンス	情報科学特論	2	○		○					学位取得 博士後期課程に3年以上在学し、特別輪講4単位、特別実験8単位計12単位を含め、合計16単位以上を修得し、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。
	医療工学特論	2	○	○						
	生物科学特論	2	○	○						
	生物工学特論	2	○		○					
	バイオサイエンス特別輪講第一	2	○	○	○					
	バイオサイエンス特別輪講第二	2	○			○	○			
	バイオサイエンス特別実験第三	4	○	○	○					
	バイオサイエンス特別実験第四	4	○			○	○			
環境マテリアル	マテリアルズ・サイエンス特論	2	○	○						
	セラミックス材料特論	2	○		○					
	アドバンスト・マテリアルズ特論	2	○		○					
	環境マテリアル特別輪講第一	2	○	○	○					
	環境マテリアル特別輪講第二	2	○			○	○			
	環境マテリアル特別実験第三	4	○	○	○					
	環境マテリアル特別実験第四	4	○			○	○			
アニマルサイエンス	動物科学特論	2	○	○						
	人間動物関係学特論	2	○		○					
	アニマルサイエンス特別輪講第一	2	○	○	○					
	アニマルサイエンス特別輪講第二	2	○			○	○			
	アニマルサイエンス特別実験第三	4	○	○	○					
	アニマルサイエンス特別実験第四	4	○			○	○			

【修士課程】総合リハビリテーション学専攻

◎は必修、○は選択

分野	授業科目の名称	単位数	必・選	毎週授業時間数				備考
				1年次		2年次		
				前期	後期	前期	後期	
医学的リハビリテーション	臨床神経内科・生活習慣病治療学特論	2	○	○		○		修了要件 修士課程に2年以上在学し、所定の授業科目30単位（必修単位12単位を含む）以上を修得し、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。
	臨床神経内科・生活習慣病治療学演習	2	○		○		○	
	神経発達機能解析学特論	2	○	○		○		
	神経発達機能解析学演習	2	○		○		○	
	運動機能解析学特論	2	○	○		○		
	運動機能解析学演習	2	○		○		○	
	内部機能解析学特論	2	○	○		○		
	内部機能解析学演習	2	○		○		○	
	生活動作解析学特論	2	○	○		○		
	生活動作解析学演習	2	○		○		○	
	障害予防・健康増進学特論	2	○	○		○		
	障害予防・健康増進学演習	2	○		○		○	
	運動器リハビリテーション特論	2	○	○		○		
	運動器リハビリテーション演習	2	○		○		○	
社会的リハビリテーション	高齢化地域生活支援学特論	2	○	○		○		
	高齢化地域生活支援学演習	2	○		○		○	
	社会リハビリテーション学特論	2	○	○		○		
	社会リハビリテーション学演習	2	○		○		○	
	社会病理学特論	2	○	○		○		
	社会病理学演習	2	○		○		○	
	福祉支援工学特論	2	○	○		○		
	福祉支援工学演習	2	○		○		○	
	医療社会支援学特論	2	○	○		○		
	医療社会支援学演習	2	○		○		○	
	健康心理学特論	2	○	○		○		
	健康心理学演習	2	○		○		○	
特別研究	総合リハビリテーション学研究法特論Ⅰ	2	◎	○				
	総合リハビリテーション学研究法特論Ⅱ	2	◎	○				
	総合リハビリテーション学特別研究Ⅰ	4	◎	○	○			
	総合リハビリテーション学特別研究Ⅱ	4	◎			○	○	

【修士課程】看護学専攻

◎は必修、○は選択

科目区分	授業科目の名称	単位数	必・選	毎週授業時間数				備考		
				1年次		2年次				
				前期	後期	前期	後期			
共通科目	看護学研究法特論Ⅰ	2	◎	○				修了要件 修士課程に2年以上在学し、共通科目より必修4単位を含む10単位以上、専門教育科目より必修4単位を含む8単位以上、特別研究8単位、合計30単位以上を修得し、かつ必要な論文指導を受けた上で、本学大学院が行う修士論文の審査に合格すること。		
	看護学研究法特論Ⅱ	2	◎	○						
	看護倫理特論	2	○		○		○			
	看護理論特論	2	○	○		○				
	生活習慣病治療学特論	2	○		○		○			
	社会病理学特論	2	○		○		○			
	保健・医療統計学特論	2	○	○		○				
	看護教育学特論	2	○		○		○			
	健康心理学特論	2	○	○		○				
	生命倫理特論	2	○	○		○				
	看護システムマネジメント特論	2	○		○		○			
	フィジカルアセスメント特論	2	○	○		○				
	多職種連携特論	2	○		○		○			
専門教育科目	看護学分野 療養生活支援	療養生活支援看護学総論	2	◎	○					
		療養生活ケア特論	2	○	○		○			
		療養生活ケア演習	2	○		○			○	
		緩和ケア特論	2	○	○		○			
		緩和ケア演習	2	○		○			○	
		小児看護学特論	2	○	○		○			
		小児看護学演習	2	○		○			○	
	看護学分野 地域生活支援	地域生活支援看護学総論	2	◎	○					
		精神保健看護学特論	2	○	○		○			
		精神保健看護学演習	2	○		○				○
		地域看護学特論	2	○	○		○			
		地域看護学演習	2	○		○				○
		母性看護学特論	2	○	○		○			
母性看護学演習	2	○		○		○				
特別研究	看護学特別研究Ⅰ	4	◎	○	○					
	看護学特別研究Ⅱ	4	◎			○	○			

【修士課程】柔道整復学健康ケア専攻

◎は必修、○は選択

分野	授業科目の名称	単位数	必・選	毎週授業時間数				備考	
				1年次		2年次			
				前期	後期	前期	後期		
基礎医療	身体構造学特論	2	○		○		○	修了要件 修士課程に2年以上在学し、基礎医療分野から6単位以上、柔道整復学健康ケア分野から必修2単位を含む12単位以上、特別研究12単位、合計30単位以上を修得し、かつ、必要な論文指導を受けた上で、本学大学院が行う修士論文の審査に合格すること。	
	身体機能学特論	2	○	○			○		
	病因論特論	2	○		○				○
	徒手療法学特論	2	○	○			○		
	健康科学特論	2	○	○			○		
	健康増進体力学特論	2	○		○				○
	健康心理学特論	2	○	○			○		
柔道整復学健康ケア	身体健康ケア特論	2	○	○			○		
	身体健康ケア演習	2	○		○				○
	臨床医療科学特論	2	○	○			○		
	臨床医療科学演習	2	○		○				○
	健康ケア医療科学特論	2	○	○			○		
	健康ケア医療科学演習	2	○		○				○
	運動器外傷学特論	2	◎	○			○		
	運動器外傷学演習	2	○		○			○	
	応用実践整復医療学特論	2	○	○			○		
	応用実践整復医療学演習	2	○		○			○	
	運動分析学特論	2	○	○			○		
	運動分析学演習	2	○		○			○	
特別研究	柔道整復学健康ケア特別研究法Ⅰ	2	◎	○					
	柔道整復学健康ケア特別研究法Ⅱ	2	◎	○					
	特別研究Ⅰ	4	◎	○	○				
	特別研究Ⅱ	4	◎				○	○	

【博士課程】総合リハビリテーション学専攻

◎は必修、○は選択

分野	授業科目の名称	単位数	必・選	毎週授業時間数						備考
				1年次		2年次		3年次		
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	
共通科目	総合リハビリテーション学研究倫理特講	1	◎	○						修了要件 共通科目2科目（2単位）及び特別研究指導（研究指導科目）（12単位）を必修、ならびに専門科目3科目中の2科目（4単位）を選択必修とする。 博士課程に3年以上在学し、必修および選択必修科目を含む18単位以上を履修、修得し、博士論文が本学論文審査に合格すること。
	総合リハビリテーション学研究法特講	1	◎	○						
専門科目	総合リハビリテーション学特講Ⅰ	2	○	○		○				
	総合リハビリテーション学特講Ⅱ	2	○	○		○				
	総合リハビリテーション学特講Ⅲ	2	○	○		○				
特別研究指導	特別研究指導Ⅰ	4	◎	○	○					
	特別研究指導Ⅱ	4	◎			○	○			
	特別研究指導Ⅲ	4	◎					○	○	